

10日 金曜

箴言

14:17 短気な者は愚かなことをし、悪を企む者は憎まれる。
14:18 浅はかな者は愚かさを受け継ぎ、賢い人は知識の冠をかぶる。
14:19 悪人は善良な人の前で、悪しき者は正しい人の前で、身をかがめる。
14:20 貧しい者はその隣人にさえ憎まれるが、富む者は多くの者に愛される。
14:21 自分の隣人を蔑む者は罪人。貧しい者をあわれむ人は幸いだ。
14:22 悪を企む者はさまよわないだろうか。しかし、善を図る者には恵みとまことがある。
14:23 いかなる労苦にも利益がある。無駄口は損失を招くだけ。
14:24 知恵のある者の冠はその者の富。愚かな者の愚かさは、ただ愚かさ。
14:25 真実な証人は人のたましいを救う。欺く者は偽りを吹聴する。
14:26 力ある扱ひ所は【主】を恐れることにあり、それは主の子らの避け所となる。
14:27 【主】を恐れることはいのちの泉、死の罟から離れさせる。
14:28 王の栄えは民が多いこと。君主の滅びは国民がいなくなること。
14:29 怒りを遅くする者には豊かな英知がある。気の短い者は愚かさを増す。
14:30 穏やかな心は、からだのいのち。ねたみは骨をむしばむ。
14:31 弱い者を虐げる者は自分の造り主をそしり、貧しい者をあわれむ者は造り主を敬う。
14:32 悪しき者は自分の悪によって押し倒されるが、正しい人は自分の死の中にも逃げ場がある。



14:33 知恵は悟る者の心のうちに安らぎを得る。愚かな者の間でもそれは知られている。
14:34 正義は国を高め、罪は国民を辱める。
14:35 王の好意は賢明なしもべに、王の激怒は恥知らずの者に。

「短気」とあるように、感情的な反応で行動・発言しないように、常に主に聞く習慣を身に付けましょう。時として「悪人」でも「身をかがめる」ような謙遜に見せることもありますから、気を付けなくてはなりません。しかし、私たちが「正しい」人であるなら、やがて本当に「悪人」が身をかがめるようになるでしょう。

人を「蔑む」くらいの勝ち組になれば、そのひとは満足かもしれませんが、実はそれは「罪人」の部類に入ります。成功しても、敬意とあわれみを持ち続けましょう。

仕事に不満を持っている人がほとんどだと思いますが、「いかなる労苦にも利益がある」と理解しましょう。それはその仕事に導いてくださった主の約束です。

主を「恐れ」て、力ある者となりましょう。民はその心が王を慕っているかどうかによって、その行動が決ります。権力のない者ならなおさらです。人から慕われるには、主の愛と知恵が必要です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？

